

会報

No.19

静岡県公立高等学校PTA会長連絡会

もくじ

- ◇ 特別研修会
- ◇ 第1回研修会
- ◇ 第2回研修会
- ◇ 特別研修会の反省
- ◇ 静岡ろう学校の記

◇ 特別研修会

高校教育の非常体制

県 委 託

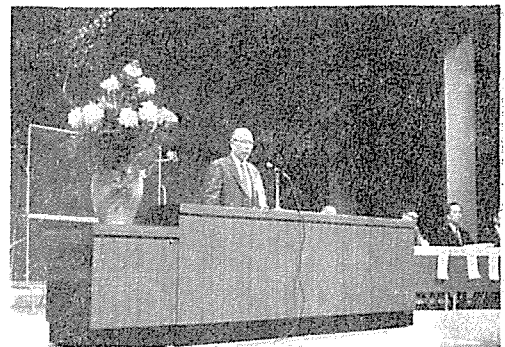


第1回研修会場（東部）

月十七日召集の理事会によって検討され、十月二日、早くも第一回の特別研修会開催の通知は、各高校PTAへ発せられたのであった。

(二) 第一回特別研修会

- 十月二十一日(火) 東部地区研修会
沼津市公会堂
三五校 三七五人
- 十月二十三日(木) 中部地区研修会
二八校 三八〇人
- 十月二十四日(金) 西部地区研修会



高校教育の確立を訴える藤森会長

謹みて

新年のお祝いを申しあげ
皆さんのご健康を祈ります

元旦



- 会長 藤 森 常 次 郎
- 副会長 木 村 一 郎
- 竹 白 鳥 内 千 吉 郎

(一) 委 託

高P会長は日頃、知事と会談し、現下の情勢から、学生、生徒の政治活動の問題を通して、教育の変革や、家庭および社会における人間性の開発の重要なことを述べていたが、昨夏、県内の高校にも政治活動が波及するにおよんで、学校教育課も、社会教育課も相呼応して、PTAの新たな研修の必要性を説いた。

八月、県への陳情、十月十二日竹山知事と、藤森会長との間に、事業委託契約が締結された。この内容については、会長の九

現況説明

県教委、学校教育課長
発表 掛川西高PTA会長
戸塚 宏 氏

分科会

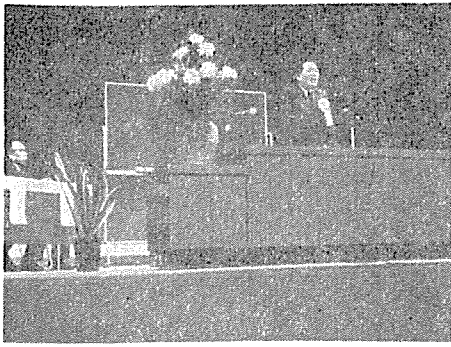
- (1) 各校PTAの現況話し合い
- (2) 第二回研修会の企画

資料

- (1) 当面する教育問題
藤森会長執筆、一校二十部配布
44・2・14
- (2) 鈴木博雄氏講演記録(会報第16号)
- (3) 「高校生の悩みに答える」
東京法令出版社 一部三五〇円
- (4) 「現代学生との対話」
鈴木博雄氏編 一部三八〇円
- (5) 「生徒指導研究会資料」
静岡県学校教育課編

○藤森会長あいさつ

本日は多数のご出席を得て、この研修会が開催できたことをありがたく思います。この研修会は、県の委託を受けた研修と



講演する鈴木博雄先生

毎年行なわれる研修を合わせ行なうものがあります。反戦日にこの研修が行なわれることは何か意義が深いように思います。

今日、高校のあり方は、親の立場、教師の立場から考えさせられ、今日の情勢は各所に、学校教育の正常化を必要としております。このような時、保護者自らが研修して、高校教育への理解を持ち、家庭教育、社会教育を通して、私たちの責任を遂行していきたいと思えます。

今まで地区会を開いてはきましたが、今回はもっと広く、多くの方々に集まっていたらいいと思います。また、日本の現状を考え、将来を思う時、次代へ人を作るということが、どんなに大切であるかを考えなくてはなりません。

幸い、県教委の方々にもご臨席を仰ぎましてこの研修会を盛大にさせていただきました。とお礼申し上げ、ただ今から開会していただきます。

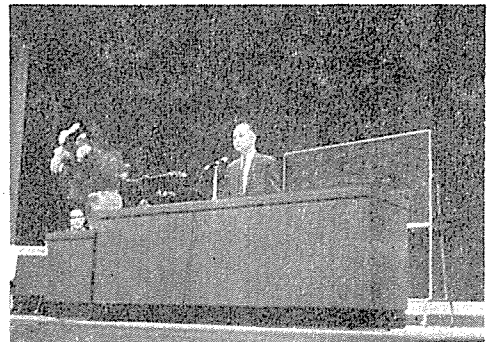
○県教育長あいさつ

PTAの皆さんのお力をいただいて、高校教育の向上推進を図られることに、お礼を申しあげます。

今日、むずかしい教育問題に対処していただくため研修していただくことは、まことにありがたい。

大学の紛争が長引き、高校生にも影響してきました。今日、この混乱が続くと、一体日本はどうなるのか、どうしてこうなってきたのか、鈴木先生がのちほど、ご講演くださると思う。

教育の量は、世界第二位だというのに、内容的にみて、質が量に追いついていかなかったのではないかと。今こそ国民総ぐるみで反省して、今後に対処したい。



発表講演の戸塚 宏さん

ただ今までに紛争が起きた学校が10校、暴力を振つてもという生徒が15万人中、約百人位、人数は少ないが、今後どうなっていくか心配を持つ。高校生は反抗を示そうとする時期である。事があろうとすると動揺し易い時代で、世の中には、火をつける連中もある。また、それを利用して、自分たちの運動の材料にする人もある。親として考えると、まことに困った問題である。

中学から高校へ80%、高校から大学へ無理にも進めたいとする親、生徒の質はまちまちで、学問が嫌いになる生徒もある。いきおい、学校教育に適応できない生徒が出てくる。大学も旧態依然としている。入学試験ひとつを考えても問題が多い。しかも教師の指導態度も考えられる。

先生のストライキについて考えても、違法でもあえて行なう。たった三十分というが、教育上心理的影響は大きい。それに政治的問題を含めると、非常な問題だ。7・10ストについても厳しく処分を行なった(二七〇人)が、教師としては、よく考えて貰いたい。

高校生徒の問題で掛川西高は、日本的に有名になつてはいるが、それほど大きいのではなく、適切に、敏速に処理されているということ。他とは違うのであろう。

私は、学校は毅然たる態度で臨むべきだと思つてはいる。他県の紛争校では、それができないで混乱が続いている。それで掛川西高は有名になつた。

今回のPTAの特別研修を有意義に、子どもの教育のために学校と保護者は一体となつて、教育の正常な運営を推進していただきたい。

鈴木博雄先生講演

「高校生運動の実態と対策」
紹介——藤森会長
講師あいさつ
(講演内容 省略)

(三) 第二回研修会

- ① 沼津、駿東、田方地区
十一月六日(休) 三島駅前田代グランド
県教委総務課——森管理主事
学校教育課——三浦指導主事
社会教育課——榎原指導主事
高校15、分校1、特殊校2、計18校
- 【会議】
- (1) 大河原校長司会あいさつ
- (2) 三浦主事あいさつ
県下高校生の状況
真の政治的教養を身につけること
- (3) 森主事あいさつ
教組の統一行動について

その対策について

【研究協議】

- (1) 各校の状況発表(略)
- (2) 教師の姿勢の問題
ある高校の実例について
- (3) 高校生の指導について
(註) ホームソングの悪用の話も出た。

② 小笠、掛川、周智地区

十一月六日(休) 掛川西高にて
 県教委総務課——鈴木管理主事
 学校教育課——井口補佐
 社会教育課——吉田係長
 高校8、分校1、計9校

【議事】

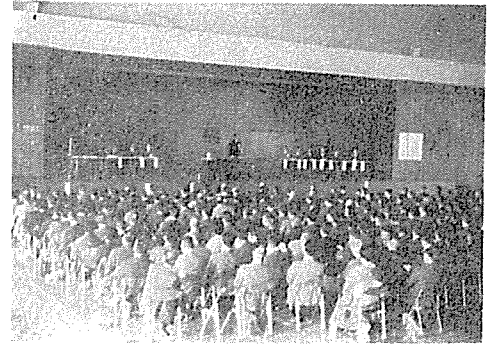
- (1) 生徒指導上の問題点
特に政治活動について
現況報告
学校の指導方針
今後の対策について
- (2) 11・13高教組のストについて
情報交換と対策

③ 浜松、浜名、引佐地区

十一月六日(休) 浜松市成子町浜松会館
 県教委総務課——河合係長
 学校教育課——鈴木管理主事
 社会教育課——大高社会教育主事
 高校15、特殊3 計18校
 式守校長あいさつ
 竹内P会長あいさつ
 各校の現況報告(略)

- 河合係長あいさつ
教師の質と姿勢の重要性
7・10ストの処分と撤回運動
11・13スト対策について

鈴木主事あいさつ
県下高校生の政治活動の現況



第1研修会(西部)

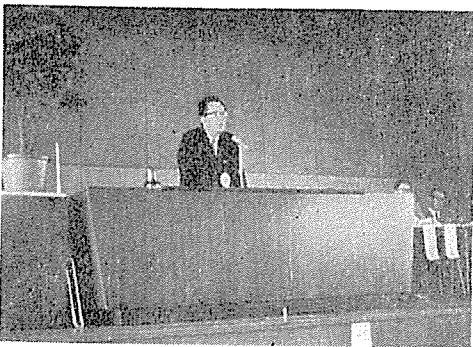
文部省、県教委の指導方針と今後の対策

教職員のスと生徒指導について
質疑応答(略)

④ 賀茂、田方地区

十一月七日(休) 東伊豆町稲取、銀水荘
 県教委総務課——平川係長、鈴木主事
 学校教育課——松下課長
 社会教育課——山本補佐
 高校8、分校1、特殊校1、計10校
 あいさつ

- (1) 横山校長
 - (2) 木村P会長
 - (3) 松下課長
 - (4) 山下補佐
 - (5) 平川係長
 - (6) 鈴木主事
 - (7) 望月事務局長
- 11・13教職員のスについて
- 【研究協議】
- (1) 生徒指導の現況(各校)
教職員の意思統一の必要



高校生を語る松下学校教育課長

- (2) 意見発表
親子の対話の必要
校長の権威の確立
教師の情熱の度合
整備と拡充

⑤ 富士地区

- (3) 教職員のスと対策
教職員の自覚を促がすこと
P側の積極的な働きかけ
要望書
意識の強い教師の配置替を必要とする意見
- (4) その他(略)

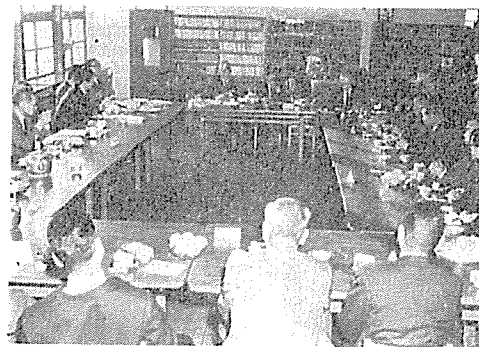
十一月八日(出) 吉原高校生活会館

県教委総務課——田代主事
 学校教育課——風間係長、森主事
 社会教育課——吉田係長
 高校7校

- 【あいさつ】
県教委よりの現況解説(略)
- 【研究協議】

- (1) 各校の現況発表
- (2) 教職員のスと対策
行動者の処分
教職員の採用方法
教職員を主とした思想調査について
要望書

(註)
 要望書について研究協議が深まり、Pの総意であるかどうか、そのために富



第2回研修会(掛川地区)

士地区としては、特に各校同一歩調で、県高Pとは別個に、各校で要望書を作って差し出した方が有効だということ。
 更に、この会が浸透性を図り、全Pの会というものの必要から、取りあえず富士地区高校PTA連絡会を作ろうという話になった。

⑥ 磐田地区

十一月八日(出) 磐田南高校にて
 県教委総務課——鈴木管理主事
 学校教育課——井口補佐

社会教育課——山本補佐
高校8、特殊校1 計9校

【あいさつ】

- (1) 中島校長
- (2) 藤森会長
- (3) 井口補佐
- (4) 山下高校生の現況
- (5) 山本補佐

鈴木管理主事
教職員の統一行動の企画と対策



第2回研修会（沼駿地区）

【研究協議】

- (1) 各校の現況発表（略）
- (2) 統一行動に対する要望書
- (3) 高校生の政治教育の確立
- (4) 教職員の統一行動および高校生の政治活動に十分注意を払い、一部の団体や個人の無察、不当の行動を排除するために全員一致を図ることを申合わせた。

⑦ 静岡地区

十一月二十四日(月) 静岡高校同窓会館

県教委総務課——鈴木管理主事

・学校教育課——井口補佐
社会教育課——田宮指導主事

高校8、特殊校3 計11校

【あいさつ】

- (1) 白鳥P会長（司会）
- 新聞記事を引用して、諸般の状況を把握し、父兄としての責任を強調、この研究会の趣旨を説明してあいさつを述べた。
- (2) 井口補佐
- (3) 鈴木主事

11・13教職員の統一行動について説明。その場限りではなく、対策を検討しなくてはならない。

【研究協議】

- (1) 各校の状況発表（略）
- (2) 対策処理法案
- (3) 学校と家庭との関係
- (4) 教師と生徒の意志疎通
- (5) 生徒と親との対話
- (6) 大学入試と学習について
- (7) 現代高校生の考え方について

（註）

生徒が学習を受け身になっていること。教師が教科指導だけに追われていること。家庭が学校へ依存度が高いこと。生徒が成長過程にあるため、押えつけられるという感じを持つこと。学習成績の点から教師に相談しにくいという生徒があること、等。

このような問題は、発言が多かったが、結論はむずかしいので、今後、相互の連絡

協力のために、研修会は続けていきたいとの話で閉会になった。

⑧ 清水地区

十一月二日(火) 清水市万世町「みなと」
県教委総務課——熊田補佐、森管理主事
学校教育課——風間係長
社会教育課——長倉指導主事
高校5

【研究協議】

- (1) 高校生の政治活動について情報交換
- (2) 熊田補佐より
- (3) 教職員の統一行動について解説
- (4) 新採用者の中の活動家
- (5) 集会場所、拠点
- (6) 父兄への要望
- (7) 地域による強弱度合
- (8) 風間補佐より
- (9) 県下の高校生の現況説明
- (10) 意見交換（略）
- (11) 全国校長会のようにす

（質疑）

- (1) 熊田補佐より
- (2) 教職員の統一行動について解説
- (3) 新採用者の中の活動家
- (4) 集会場所、拠点
- (5) 父兄への要望
- (6) 地域による強弱度合
- (7) 風間補佐より
- (8) 県下の高校生の現況説明
- (9) 意見交換（略）
- (10) 全国校長会のようにす

（湯山校長）



第2回研修会（浜松地区）

（註）
生活に充実感のない、不安な生徒が、権威あるものへ反抗しようとする。

⑨ 志太・榛原地区

十二月五日(金) 藤枝東高校にて
県教委総務課——河合係長
学校教育課——鈴木管理主事
社会教育課——田宮指導主事
高校12

【あいさつ】

- (1) 開会（司会）大石P会長
- (2) 碓井P会長
- (3) 事務局
- (4) 田宮指導主事

【研究協議】

- (1) 生徒の政治活動について（鈴木主事）
- (2) 封鎖を行なうてから要求を入れ
- (3) た。
- (4) スローガンを掲げてから封鎖にかかる。
- (5) 混乱を起して教育を破壊しようとする。
- (6) 県内の高校生の状況
- (7) 紛争校の第一から第二へ移っていく傾向にある。
- (8) 民青系の行動。
- (9) 各校の現況発表（略）

（註）

大学進学者の学校への出入問題
学校新聞の重視
生徒との懇談
休業時の警戒
PTAの会合と、家庭との連絡
文部省の見解について（鈴木主事）

この問題は相当意見が出て、協議が深まった。

- (1) テレビを見ることの問題
- (2) 教職員の共通理解の問題
- (3) 教育上基本的人権ということ
- (4) 静かなデモ参加ということ
- (5) 立会演説会と政治的教養ということ
- (6) 入学時の誓約書問題
- (7) 教職員の統一行動について

概況報告
地区の状況

- (1) 説得すればやめる教師
- (2) 若手教師の研修計画
- (3) 敵しい態度の必要性
- (4) 宿日直の問題について
- (5) 質疑

- (6) 教育大出身者への対処について
- (7) 教員採用試験について
- (8) 懲戒処分について
- (9) 生徒への影響について
- (10) 事務局への要望

このような研修を続けていく必要性について。

(四) 特別研修会の反省

県の委託事業として、PTA特別研修会が開催された。東京教育大学鈴木教授の熱のこもった講演、掛川西高等学校戸塚会長の真剣なお話で会場のふんい気は、いやがうえにもあがって、質問や意見発表もあいつぎ、従来にみることでできない充実した研修会であった。

十月下旬に集中的に行なわれて、準備期間も短かく、相当無理な計画であったにもかかわらず、このように成功したわけは、両講師が、小中学校PTA研修会も合わせ

ると、六回も県下をたび歩いてくださったたまもので、現下の世状を憂うる至情からと察せられるが、御熱意のほどに頭の下がる思いがする。また、会の運営に労を惜しまなかつたPTA役員の方々の御尽力も忘れることはできない。教育を、今のうちになんとかなしねばならないというさし迫った気持が、言わず語らずのうちに、一致した団結の力となつたものと思う。

この研修会は、PTA幹部を対象としたものであった。しかし願うところは、研修の成果をPTAの全会員に徹底することである。各学校ともそれぞれ計画はあると思うが、静岡のある学校では、PTA役員が積極的に計画をたてて、クラスごとに、会場をきめて集まり、先生方も招待して、趣旨の徹底をはかつたということである。高校生の政治活動に対する親の認識はきわめて浅い。癌(がん)ではないが、早期発見早期治療でないと治ゆしない。洗脳されてしまったあとでは、どうにも手の施しようがないのは、掛西高の例がはつきり示している。政治活動にかぎらず、親はもとよ学校と連絡をし、学校も敷衍を高くして



第2回研修会(富士地区)

はならないと思われる。

高等学校のPTAは、今まで横の連絡が十分ではなかつた。全県的組織としては、PTA会長連絡会があるが、これはその名のとおりであるから、組織として十分とはいえない。

今回の研修会の運営で、多少もたついた感じのするのは、組織力の弱さからであろうか。この研修会を通じて、組織の力と必要が感ぜられた。単位PTA相互の連絡をもつと密にすることの必要を、だれも実感したことと思う。

鈴木先生の送迎の途上、先生は、全国に例のない研修会だと言われたが、新しい試みの研修会が、成果を修めて終ることのできたことに対して、改めてPTAの皆様

高校における

政治的教養の教育のねらい

――文部省の見解について――

第一回の特別研修会(地区会)で、一番意見も多く、問題になつたのは、高校生の政治的教養とは何を指すのか、教育指導上、どのような注意が必要か、であった。

特に、年末の選挙を迎えていたので、政見発表が行なわれていたし、聞いてよいのか、聞かせてよいのか、対話の時どう話したらよいのか、など全く重要な問題であった。ご参考に文部省の通達の一部を掲げよう。

- (1) 高校における政治的教養の教育のねらい
- (2) 将来、良識ある公民となるため、政治的教養を高めていく自主的な努力が必要なることを自覚させること。
- (3) 日本国憲法のもとでの議会制民主主義



第2回研修会(志太、榛原地区)

感謝したい。

(社会教育課 田宮指導主事)

についての理解を深め、これを尊重し、推進する意義をじゅうぶん認識させること。

(3) 政治的事象を客観的に理解して、くろえ必要な基礎的な知識、たとえば民主主義の理念、日本国憲法の根本精神、民主政治の本質等について正確な理解を得させるとともに将来、公民として正しく権利を行使し、義務を遂行するために必要な能力や態度を養うこと。

なお、その際、国家・社会の秩序の維持や国民の福祉の増進等のために不可欠な国家や政治の公共的な役割等についてじゅうぶん認識させること。

(各高校に通達があつたと思うので省略)

（高）（校）（紹）（介）

——わが校の誇り——

静岡県下の公立高校は八十六校、
郷土の明日を担って、やがて社会に
雄飛する生徒は、今、それぞれの誇
り高い学園に、学び続けている。

器楽演奏も、塗装も

将来への自活力を育てる

——静岡ろう学校——

静岡市中村町の静岡ろう学校。

古びた校舎……ではあるが、静かな校舎
の中に、偉大な躍動が繰り広げられてい
るとは、誰が考えられるであろうか。

ひまわりの学級から始まって、幼年部、
小学校部、中学校部、そして高校部まで十
八学級。男子65、女子43の一〇八の児童生
徒が、五十四名の先生方に護られて、一日
一日、豊かな稔りをつみ重ねていく。
はじめて、この学校を訪れる人は、まさ

か、このように、普通学校の満足な生徒も
顔負けするような、生き生きとした、生命
の展開をしているとは、夢知らなかったの
ではあるまいか。

石原校長先生に案内されて、小学校部の
一室へ入ったら「校長先生今日は」の言葉
が聞かれ、「お客さんですよ」と先生がお
っしゃったら、「いらっしやい」とはつき

りした声であいさつされた。

音楽室も施設じゅう分。

立派に器楽演奏も合唱もできるのだ。色
と光を音感へ、そして直感的に技能へ入っ
ていく。和裁の室、洋裁の室、それぞれ学
んでいる女生徒さんが見事に衣類を仕上げ
ていた。

高校部の生徒さんが、木工に専念して居
たし、一方ではロッカーの塗装を仕上げ
ていた。

外にあったバスの塗装もするのだとい
う。私は、耳の不自由な人たちは、人一
倍器用さがあるのではないだろうかと思っ
た。だって、廊下の学校新聞や、教室の習
字や図工作品、みんな、そのできのよいこ
と、私にはそう思えてならなかった。

校庭の一隅で、先生と体育をやっている
生徒さんの姿が、とり分け元気に見えた。

ソフトの試合をやっても相当強いらしい。
石原校長さんは、人情味豊かな校長さん
で不自由な、この生徒さんたちに、能力と
特性を生かして、将来へ自活力のある子を
育てていこうと、失官原因の調査から、打
開方策、子どもの能力調査と、深い研究を
進められているように感じた。

よる疾盲が、15歳を占めているということ
で、如何に幼児の健康留意が大切であるか
「この学校への入学は早いほどいいです
よ。」
三才から入学を許します。」とおっしゃ
る。更に、「先天性が、70%を占めている
のですから、母親は受胎と同時に、余程健
康に気をつけていただかなければ……」と
のお話を耳に、女性の乗車運転、労働進出
による過労などと、現代世相を気にしなが
ら、この学校に暇を告げたのだった。

運動場を隔てた白い建物は寄宿舎であつ
た。16名の生徒さんが、仲よく暮している
ところ。この学校の生徒さんは、静岡、清
沢、島田、榛原と、県中部からの集まりで
まだ県外からは来っていない。

ここで学んで巣立った人たちは、どこへ
行くのだろうか。家具店、衣料会社、洋服店
などで、男子初任給二三、〇〇〇円、女子
一八、〇〇〇円となつて、その技術は高く
評価されているようだ。

それにしても校長さんのお話では、後天
性が約三分の一を占め、特に、マイシンに

（註）
なお、この学校はPTAが熱心にベル
マークを扱ってくださる学校です。

——お詫び——

特別研修会には全く、地区の皆さんの熱
誠溢るるご協力をいただき、ありがとうございました。

記録報告のなかつたところもありました
が、詳細なご報告をいただいても十分掲載
できず、申しわけありません。鈴木先生の
講演は、理事会に回り、特報として配本し
たいと考えますのでご諒承ください。
（事務局）



（作業にがんばる、ろう学生）

昭和四十五年一月二十日印刷
昭和四十五年一月二十日発行

静岡市追手町県民会館社会教育課内
静岡県社会教育委員連絡協議会

電話静岡〇八一六一
郵便番号 四一〇

静岡県公立高等学校PTA会長連絡会